

月報

岡崎の教育

10月号

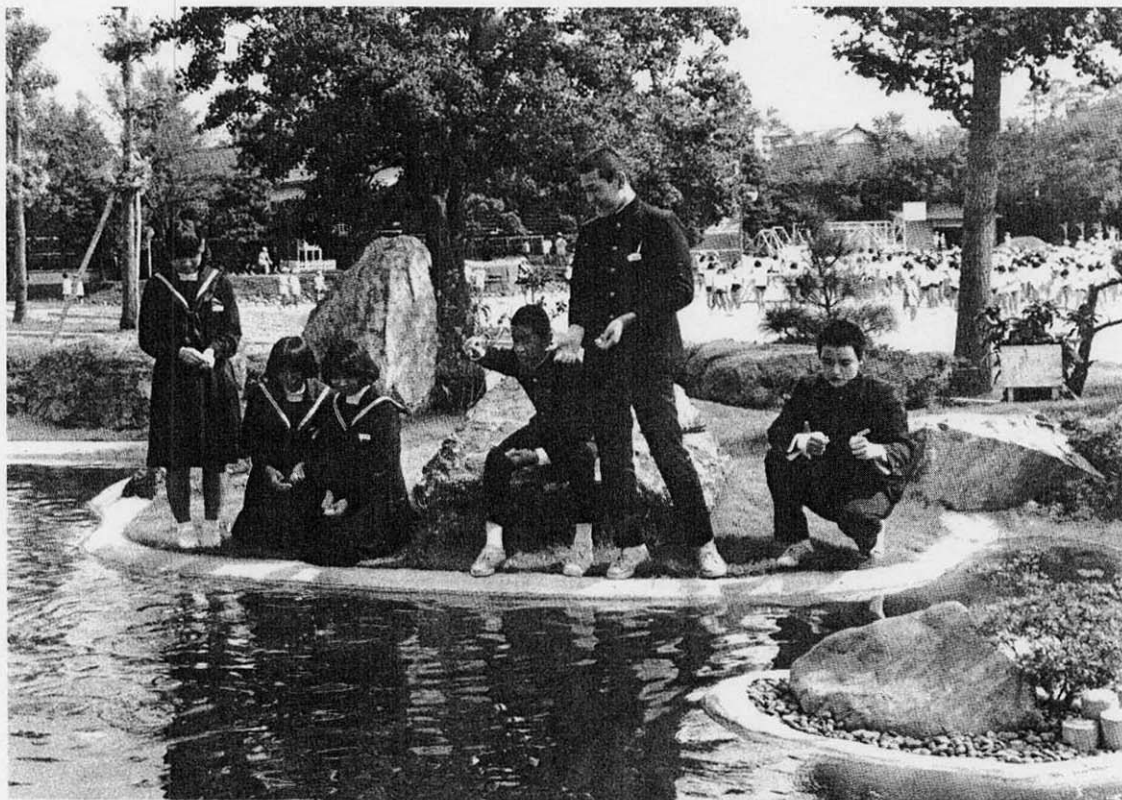


学問にもうこれでよいという時
 はない。棺桶に入ってしまった
 はじめて学問を終えたというべ
 きだ。

蜂須賀謙吉

(岡崎市医師会史より)

昭和50年10月1日
 編集・発行
 岡崎市教育委員会
 印刷
 研文印刷社

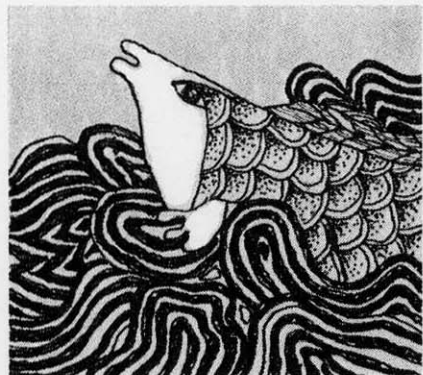


(木々秋色 - 竜海中 -)

— 教育随想 —

問い直す

加藤明康



ろうか。なぜ、そうするのか、何のためにするのか、我々は常に問い直して
する必要がある。常に。

それと、今一つ考えておくべきことがある。それは、我々は否応なしに、毎日
を情報の洪水の中で押し流されそうになりながら生きていくことだ。情報
過多の中の情報不足に悩みつづ……。

従って、今自分にほんとに必要な情報
とは何かを、選択するのがむずかしい。

教育界という中で情報選択は比較的
容易かもしれないが、私は、教員の立場
を考えると、もつと広がりのある、別種
の情報絶えず導入することを考えるべ
きだと思ふ。

そのための、ささやかな、日常生活上
の提案をしたい。それは教員同士ではな
い、医者でも、デザイナーでも実業家で
もよい、異職種の人達との交流を深める
ということ。自分の職業とはかけ離れた
人、できれば年齢差や性別もあつた方が
よい。そういうグループを作りなさいと
……。

我々アナウンサーも、二か月に一度は
研修会をもつが、わざと放送とは無縁の
講師をひっぱってくる。

その意図はおわかり頂けると思う。

(CBCテレビ制作
局アナウンス部長)

いまはむかし

表彰



砥鹿神社賞 三河一宮の砥鹿神社は、
かつて国幣小社としてその社格を誇つて
いた。昭和二年、ここに着任した宮司に
よつて設けられたのが「砥鹿神社賞」。

三河所在の小学校・旧中等学校の卒業
生を対象に、各学校一名に与えられたも
の。学力優等・操行善良・身体強健と、
選考の条件は厳しく、当時最も權威のあ
る賞であつた。多くの場合、成績一番の
者を選ばれたが、戦時体制下にはいり、
身体強健の項がより重視されたという。
賞品は、銀メダル・漢和辞典・国語辞典
など、年によつて異なる。昭和二十年に
廃止された。

学校賞 昭和十一年から、明治以来統
いていた一等賞、二等賞の呼びかたが、
優等賞と変つた。

優等賞

操行善良学力優等二付

頭書之通賞興ス

(尋常高等小学校 昭和十二年)

この頃、ある学校では修業生の一五パー
セント、卒業生の二〇パーセントに賞
を与えている。明治以来、立身出世主義

先日、ある学校の体育祭の日に、「お
にぎり中毒事件」というのがあつた。

今年も異常気象ということ、九月末
まで「真夏日」の連続。考えてみれば、
食中毒発生シーズンだつた。しかし、何
故そんな日を選んでわざわざ体育祭をや
つたのか？ 関係者の方には酷かもしれ
ないが、私は基本的な誤りがあつたと思
ふ。

第一、あのいやな暑さの中で、走り跳
ぶことが、ほんとに健康や体力の増進に
つながると考えてよいのか、秋風さわ

やか、伸び伸びと陽光を浴びてグラウン
ドいっぱいスポーツを楽しむのが、本
来の目的ではなかつたか、行事予定が早
くから組まれ、変更しにくい事情があつ
ただろうか、私は敢て、だから決行とい
うのでは、余りに形式主義にとらわれて
いないかと思う。気象情報も発達してい

る現在、思い切つて延期するくらいの発
想がほしい。

我々はしかし、案外、形式とか既成概
念にとらわれて行動しているのかもしれ
ない。例えば、こんなこともある。

「横断歩道は、手を挙げて渡りましょ
う。」というが、暴走車があれば、かえつ
て被害は大きくなる。片手を挙げたまま
百メートルを疾走させればタイムは落ち
るのは明瞭なのに、わざわざ人間の機敏
性を抑えて、車の洪水の中を歩かせると
いう指導法は危険極まりない。

一体誰がこんなことを教えたのか、
「だつて僕は、ちゃんと渡つてたのに……
……運転手が悪いんだ。」そうこぼを残
して子供が死んだら、余りにも悲惨では
ないか……。

みんながしてるから、昔からそうだか
ら、そうするでは、余りに安易ではな

ふるさとの自然

乙川を

さかのぼる

岡崎に住む魚類



岡崎市には、西部に矢作川、中央に乙川という川があり、そこに生息する生物は今も昔も変わらず種類が豊富である。

しかし、詳しく調べてみると昔はどこでも見かけられたシジミ・カワニナなどが見られなくなったり、逆に昔は見られなかったザリガニ・カムルチーなどが顔を見ればすやうになるなど、社会的環境事情によって実態はかなり変化してきている。乙川を例にとつて昔と今の魚類の変化のようすを紹介しよう。

▼今でもよく見られる魚

- カワムツ・オイカワ(シラハエ)・メダカ・ニゴイ・イシモロコ・タモロコ・デメモロコ・ヤリタナゴ・コイ・フナ・ナマズ・ドジョウ・ウナギ

ニゴイ・ナマズ・ウナギなどは市の中心部ではほとんど見られなくなったが周辺部では案外よく見かけられる魚である。

▼上流にしか見られなくなった魚

- ホトケドジョウ・シマドジョウ・アカザ(ハリメコ)・ヨシノボリ・ドンコ・ウグイ・カマツカ(スナモ)

ドンコ・シマドジョウは昔は小川にいくらでもいたものだが、現在では上流にしか住めなくなつてしまつたようだ。

▼ほとんど姿を消してしまつた魚

- カワバタモロコ・ヤツメウナギ・天然アユ

天然アユは上流にのぼる道をふさがれ姿を消した。カワバタモロコはなぜか幻の魚と化してきたようだ。

▼近年見かけるようになった魚

- ハス・ゼセラ・ヒガイ・バラタナゴ・ゼニタナゴ・カムルチー(ライギョ)



▲アカザ

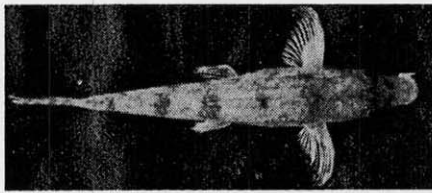
▼ヨシノボリ



▼シマドジョウ



▶カマツカ



中国原産のカムルチー以外は、上流で琵琶湖産の稚アユを放流した時、アユにまじつてきたものと思われる。まだ数は少ないようだ。流域各所に造られたえん堤によって上流にのぼれなくなった天然アユにかわつてよその魚が住みつき、その上あまり歓迎されないカムルチーが繁殖して魚相が昔と變つてしまつた。乙川の水質は美合付近を境にして異つてきている。そのため環境に適應できない魚類は上流に追いやられた感じがする。下流に放流されるミカちゃん、すでに額田郡豊富地方にまでさかのぼつているのも水質環境のせいかも知れない。乙川に昔の清流が流れ、かつての魚たちが帰ってくるのはいつの日であらうか。(竜海中、生駒 隆章)

的な風潮が、教育界の基底を流れていることがわかる。

時の記念日賞 昭和五、六年、尋常高等小学校時代。六月十日、時の記念日にちなんでの催し。

登校時刻きつかりに校門に入り込むのがねらい。一分おくれでも早くても減点1、二分で減点2と基準を定め、学級全体のトータルで賞状を出す。子どもたちの通学距離はさまざま。各自の工夫が賞につながる。遠い者は、途中民家に立ち寄つて柱時計をのぞきこみ、時間を調整。学校付近の子どもは、物陰に潜み、校門に陣取る先生たちの動きを監視。ころ合いを見計らつて、どつとゴールイン。

皆勤賞・精勤賞 戦後、まつききに姿を消したのは優等賞。これに代わつて、努力賞・平常賞などが新設された。日ごろの生活の中で、個人個人のすぐれた資質を発見し、伸ばそうとするもの。

論議の多いのは、皆勤賞と精勤賞。市内の小中学校の対応のしかたも、一様ではない。昨年度の例を上げると次の通り。

○皆勤・精勤ともになし

(小学校16校、中学校8校)

○六か年(三か年)皆勤・精勤

(小学校11校・中学校1校)

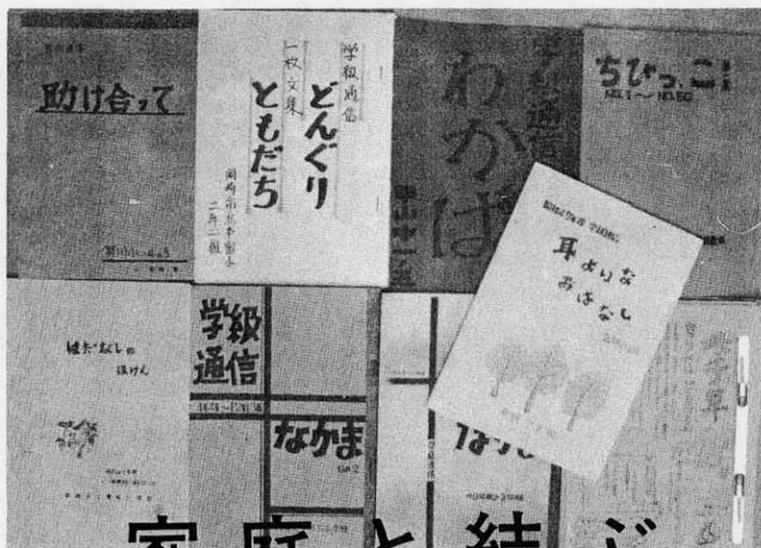
○六か年(三か年)皆勤

(小学校6校、中学校3校)

○その他

(小学校2校、中学校2校)

(藤岡太郎・荻野卓郎・神谷高明先生のお話から。)



家庭と結ぶ

— 学級通信 —

—— まず、始められた動機について。
市川 昭和三十三年からだったと思いますが、先輩がやっているのを見て、わたしも始めてみたのです。そうしたら、とっても父兄に喜ばれたのです。先生が便りを出してくれることによつて、学校で子どもたちのようすがとつてもよくわかる、というのです。わたしは、これはしめた、という気持ちを持ったのです。
大須賀 わたしは「保健だより」なので

す。おかあさん方の中に、保健的な考えがないような状態だったので、これではいけないというわけで、何とか家庭へも保健の考えを浸透させようと思ったのです。
有馬 今年一年生を受け持つてみて、特に一年生を担任するには、父兄との結びつきを密にしなければならぬことを痛切に思つたんです。ほとんど毎日出しているんだけど、家庭訪問でまわつてみる

と、ほくがやっていることに父兄の期待がとつても大きいのです。自分としてもやりがいのあることとして続けています。
倉橋 前々から、多くの学級の学力差がとつても大きいことをいつも苦にしていたのです。これは、ほくの学級経営のまづさにあるのではないか、と思つたのです。そこで、学級づくりの基になるものを、というわけで以前少しずつやっていった学級通信を、毎日続けるといふことを、是非実践してみよう、と思つたのです。
加藤 ほんなわけ始めて、二年めになります。通信は一年めから少しづつ始めていまして。初めのうちは、父兄に文章を書くといふことに、ほく自身とつても抵抗があつたので、どつちかといふと、文集づくりに力を入れていました。ところが、先輩の影響を受けて、学級通信に本腰を入れるようになったのは今年からです。
塚本 国分 (一太郎) 先生や森(信三)先生の本を読んで、子ども一人一人を大切にすることの意味や、親との結びつきの大切さを知らされたのです。四月は忙しさにまぎれてできなかったのですが、五月の新任教員研修会を機会に始めたのです。始めてみたら、親がとつても喜んでくれたのです。
畔柳 ほくが今のようになり書くようになったのは、四年ぐらい前からです。毎日書かなければならないような何か、子どもと親とほくとの間にできてくるのです。一人の子どものせてやると、そ

れが全員の子に広まり、一週間に一・二回が三回になり四回になりました。子どもと教師だけでは、本当に子どものことを考えている、とは言えないと思うのです。子どもと親と教師といふ三つのつながりは絶対的なものです。この三者を結ぶものとして、学級通信があるのです。
市川 長い間とつておくと、自分でほれこんでしまふ。なつかしきでいっぱいになります。
有馬 製本してやると、子どもが「自分の本だ」と、だいじにする。こんな姿を見ていると、うれしくなつてきます。
倉橋 思わぬところで、子どものよさを
 知ることができます。





大須賀 親から、「先生、見てるわよ」と言ってもらえると、何とも言えない喜びを味わいます。わたしの学校は大きくないので、学校中の子どもを担任しているような気になれます。親から通信の題名を募集した時に、大きな反応があったのです。うれしかったです。

市川 子どもに対する担任の気持ち親がよく伝わると思います。そこを親にわかってもらえることがうれしいですね。——通信を続けることによって、自身が成長していると思うことは。

畔柳 ぼくは、ぼくから見た子どもの成長も書きますし、友達から見た姿というものなるべく多く入れるようにしているのです。そうすると、子ども同志の間関係というのが、とつてもプラスになると思うのです。子どもと親の間もそうです。うちの子はダメ、と思っていたものが、通信を見ることによって、自分の子どもを見直すことはいくらでもあるのです。

——子どもを見つめる教師の目が育っていくということばは、たいへん心をひかれます。毎日ばんやり過していると、そういう目が育たないわけですが、みなさんのように、目が育ってくれば学級通信そのものも内容の面で少しずつでも変化のあとが見られると思います。

さて、今までにつらい思いも数々々々これらだと思いますが。
市川 マンネリ化ということを考えてと本当につらいです。

畔柳 いかにして親に読んでもらうか、ということはいつも考えています。ぐつと引きつけられる通信にするにはどうしたらよいかで、連日やんでいます。いつも、親の目を見て書かなくてはいけないと思うのです。

倉橋 時間的な余裕があると、孔版技術が生かせると思うのですが、どうも時間に追われます。

畔柳 時間というのは、自分の取り組みだけで生み出せます。教師の姿勢しだいだと思います。

——今後、よりよいものにするための抱負は。

倉橋 続けることによって自分のものになると信じてやっていきたいのです。

加藤 子どもをよく見つめた、いわゆる内容の充実したものが出せるようにしたいと思っています。

畔柳 こういうことは、個人プレーではなくて、学年、学校中に広まっていきたいと思っています。

大須賀 わたしなりに見た子どもの姿を少しでもたくさん書き入れたいと思います。

市川 もちろん、通信が教育の仕事のすべてではありません。教育実践のほんの一部ですが、やっぱり今後も休まず続けていきます。

塚本 もつと子どもに目を向けたものを少しでも多く出したいと思っています。

——どうもありがとうございます。これから、がんばってください。



出席者

- | | |
|-----|-------|
| 男川小 | 畔柳 吉朗 |
| 岡崎小 | 市川 敏雄 |
| 秦梨小 | 大須賀紀子 |
| 〃 | 有馬 正巳 |
| 男川小 | 倉橋 裕 |
| 本宿小 | 加藤 健一 |
| 羽根小 | 塚本 洋子 |

講演要旨

日本語とはどういうことばか

—— 全体的に見た日本語 ——

金田一春彦

日本語というのは、実に複雑な内容を持つたたきさんのことばの集まりだということをしみじみ感じます。グロータスさんというベルギーの方がいつか話しておりましたが、「日本人が電話をかける」という人にかけるかによつて、みんなことばが違う。親しい友達にかける場合、親にかける場合、目上の人にかける場合、あるいは敬語を使い、方言を使い、共通語を使う。これは、ヨーロッパで言つたら、ゆうに三方国語か四カ国語を使い分けているのと同じだ。ということですが、ヨーロッパでは、総理大臣などは三方国語、四カ国語を使い分けますが、日本人はだめだなあと思つておられますけれども日本人は日本語を使いながら、そのことばを使い分けているのだそうです。

その第一は、方言の違いでありまして、わたしが九州の天草へ行った時のことですが、わたしどもと話す時はよくわかるように話してくれませんが、土地の人同志だとさつぱりわかりません。しばらく聞いておりましたら、「いたちくつて、さるくつた」と言つたんです。びっくりり

まして、この辺ではいちちちを食つたり、さるを食つたりするのかと思ひましたら、「行つて来て、歩き回つた」ということだそうです。

方言の中で、一番直りにくいのが、アクセントだと思つておりますが、アクセントと言ふのは、方言の根本的な性質を作つています。名古屋の方では、「日が出る」「火が出る」の区別がなく、両方とも「ひが出る」となつてしまいます。豊橋へ行きますと、橋と端がいつしよになつてしまい、はしを渡るといふ場合、真中を渡ることか、ブリッジを渡ることかわからなくなつてしまいます。岡崎はこのいづれも区別がありまして、東京とそっくりです。

日本語の違いはこれだけでなく、男のことばと女のことば、これはちよつと聞けばわかりますね。

昔、歌謡曲に、「あな一」と言つと、「な一んだい」と言う歌がありました。これだけでどつちが男か女かすぐわかります。これが英語となるとそうはいかないんです。あるアメリカ人がアメリカの小

説を読んでいて、会話ばかり並んでいましたら、どつちが男で、どつちが女か、どつちが怒つていて、どつちが謝つていのかわからなくなつたらしいんです。それでどうしたかと言ひますと、初めから数えて、奇数番目だから男だと思つて読んでいったといふのです。

さらに、日本語には、「です、ます体」といふのがあつて、皆さん方、なんでもなく使い分けられると思ひますが、この使い分けができる国語といふのは世界で非常に珍しい。ビルマ語、ジャワ語、朝鮮語、韓国語にはありますけれど、他にはありません。敬語といふのは、大へん発達しています。日本語では名詞を言う場合には「お国」とか、「お年」とかおをつけさえすれば、大い敬語になつてしまひますけれども、中国語はそうではありません。「あなたのお年は」と言う場合、「リカオクン」と言つて、カオは高

という字を書きます。相手が女性なら、「ファンリン」と言ひまして、芳年と書きます。このように敬語の発達している中国でも、ていねい語といふのは、ありません。フランスの小説家が言つたことがあります。尾崎紅葉の「金色夜叉」の初めの部分で富山唯繼のしているダイヤモンドを居合わせた者がほめる場面がありますが、「あれがダイヤモンドだ」とか、「ずいぶんよく光るわねえ」。「なんてすてきでしょう」とか言つてゐる。それを読めば、どれが男か女か、その職業から年の具合まで、すぐにわかるというのです。

日本語は、こつこつと豊かな言語だと言へると思ひます。

時 昭和五十年九月七日
所 城北中学校
(文責 松井きよ子)

かがみ

びっくり箱教室
高瀬 妙子

朝、教室の入口に立つ。子どもたちはだれもいない。よく見るとランドセルもない。「さては」と一歩踏み込んだとたん、戸のかげから「ワー。」すまして教卓に行つて立つと足もとから「ワッ。」ついでに横の掛図かけの隙間から「パー。」思はず悲鳴を上げると、机の下、戸棚の陰から子どもたちがランドセルをかかえて、バツタのように飛び出してきた。

一年生、男4名女12名計16名おまけにどういふわけかおとなしい子揃い。入学式のある日など教室へ行くと、息をひそめたように静かです。気味悪い程だった。昨年まで43名の腕白学級をかかえ声を囁らしていた私には、平衡感覚を失つたような一学期間だった。でも、最近だんだんに変つてきた子どもたちの表情をたのしみに、びっくり箱をしかけたり、しかけられたりしている。(生平小)



サルビア

期待の施設また一つ

体育館に次いで少年自然の家も

市制六十周年記念にと着工された県内最大規模の総合体育館がその偉容を現わして年度内の完成が待たれているが、続いてまた一つ、岡崎の子どもたちの野外活動施設「少年自然の家」が予定を一年早めて着工されることになり話題をよんでいる。

【表紙】蜂須賀謙吉（一八二一—一八七九）非常に向学心の強い人で、四十歳を過ぎて岡崎の藩医を勤め、さらに江戸に遊学し西洋医学の真髄を修めた。愛知病院（名古屋大学）を経て、岡崎病院の副教師となった。まさに三河地方の医師の育ての親であった。

【寄贈刊行物・資料等】

◇読書指導実践記録 六ツ美中小「読めない子が読めるように、読まない子が読むように」と願って取り組んだ二年間の記録。苦心の実践を手作りの孔版で仕上げている。読み易く親しみ深い。
B5変形、一三〇ページ

◇湖と森の国に友だちをたずねて 美合小・緑丘小

全国にも稀なケースとして注目された両校児童のカナダ訪問の記録。日記、感想等の全編に新鮮、率直な感動が表現され、海外学習の成果の大きさがうかがわれる。B5変形六二ページ

完成時における両施設の概要は次のとおり。

●競技場面積の広い体育館

▽場所〓六名町馬場、敷地一万三千二百二十四平方メートル▽建築面積〓六千九百九十一平方メートル▽同延面積〓一万三千二百五十六平方メートル▽構造〓鉄骨、鉄筋コンクリート造、四階建〓本棟〓1階〓駐車場、柔道場、剣道場、事務室器具庫、シャワー室等▽2階〓主競技場（競技可能種目〓バレー4面、バスケット3面、テニス3面、バドミントン8面、ハンドボール1面、体操一式）その他の施設（トレーニング室、ロッカー室、トイレ、シャワー室、放送室、本部室、医務室、器具庫、ステージ、椅子等）
▽3、4階〓観覧席（二千五百

席）〓管理棟〓▽1階喫茶室、▽2階事務室、会議室▽3階卓球場、会議室

●夢がいつばい少年自然の家

▽場所〓須渚町屋名平、敷地二十二万四千七百平方メートル（岡崎公園の約一・五倍）▽おもな施設〓管理棟（鉄筋コンクリート二階建、延千二十七平方メートル）1階大・中浴室、管理人室、機械室倉庫など。2階玄関、ホール、事務室、医務室、研究室、食堂など。宿泊棟（鉄筋コンクリート3階建、延千八百八平方メートル）1階玄関、2・3階宿泊室（洋室16、和室4、計二百四人収容）研究室、談話室など。▽総工費〓三億四千八百万円▽その他の施設〓キャンプ場2か所、遊歩道、落ち葉スキー場、野鳥の森自由広場、展望の広場、鐘の鳴る丘、子供の楽園、自然農園、ホテル自然観察園など、いずれも五十一年度からの計画

■十一月の研究発表

【広幡小学校】 18日（火）

▽主題〓自ら学ぶ力を育てる国語学習▽日程〓公開授業、研究発表、分科会協議、講演〓筑波大副学長辰野千寿先生

【竜海中学校】 26日（水）

▽主題〓わかる学習の深化と拡充〓教育計画とその実践〓▽日程〓公開授業、特設授業、研究発表、全体協議会、講師〓名古屋大学教授高橋義孝先生

【六名小学校】 12月2日（火）

▽主題〓記録のとり方、生かしかし方の研究▽日程〓公開授業、研究発表、分科会協議、講演〓評論家佐藤忠男先生

■文部省、県教委の海外派遣

ことしも6月から11月までに昨年（10名）を上回る13名が派遣されて世界各地で研修視察を行なった。（一部これから）本市関係者は次のとおり。

〓文部省派遣〓▽岩月貞夫（井田小学校長） 6月短、アメリカ

カナダ▽川合博（城北中）同上

▽斉藤ユキヨ（本宿小）6月短

ヨーロッパ▽野田守司登（香山中）9月短、アメリカ▽野村正巳（秦梨小）9月短、ヨーロッパ▽都築泉（天作東小）11月短

東南アジア▽岸田達夫（緑丘小

校長）11月短、ヨーロッパ▽鳴田稔（井田小）同上▽長谷川四郎（三島小）同上

〓県教委派遣〓▽神谷四士保（福岡中校長）10月、イタリア▽宇佐美利郎（常磐中）10月、フランス▽鈴木郁代（南中）10月、アメリカ西部▽中村巽（市教委）10月、アメリカ東部

■小学校修学旅行の班と日程

小学校三十五校の修学旅行が11月25日から例年どおり京都奈良方面、三班編成の各一泊二日間て実施される。

▽25・26日〓梅園、広幡、井田福岡、竜谷、藤川、山中、本宿六ツ美中部、同北部、同南部

▽26・27日〓根石、美合、緑丘岡崎、六名、愛宕、生平、秦梨常南、常盤、常東、矢作東、矢作北、矢作南

▽27・28日〓男川、羽根、三島連尺、恵田、奥殿、細川、岩津大樹寺、矢作西

■二期の新任教員研修

会員の授業研究を中心にして小中毎に各二回、いくつかの学校に分かれて実施する。

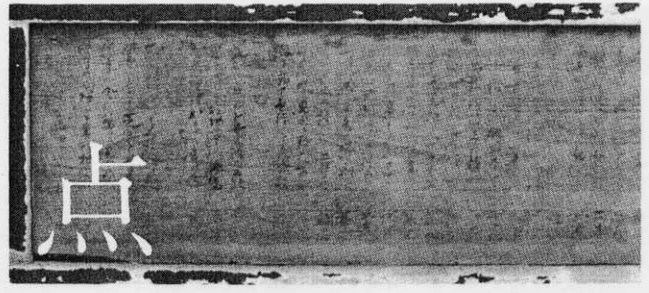
【小】10月21日、11月11日（教科により一部変更あり）

【中】10月14日、11月25日。※火曜日

発句奉納額

下六名の真宮神社に奉納された発句奉納額は、大きさがたて四十種、よこ二米に及ぶもので、板張りに直接絵と句が墨書されている。献奉されたのは天保時代で、岡崎市内では古い年代のものである。裏面の「願主、秋花、当所、加藤林右衛門、敬白」の文字は鮮明であるが、表面の文字は、風に晒されて読み難い。僅かに卓池選句の発句三十七句が判読できるだけである。

当時の句会の催された経緯については詳細な記録や伝承もない。唯、俳人卓池の指導によって、この地に育っていた庶民文化の一端を覗くことができるのみである。

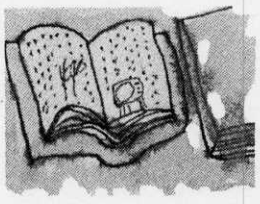


寸言

▼体育の日
さわやかな秋空のもと、心も身体も健康である喜びをかみしめる日でもある。

▼灯火親しむ
灯火のもと、本にひたりながら、思索を深める夜長の秋。
エコノミックアニマルが人間にかえる季節。
窓の灯の草にうつりて虫の声

子規



日本亭主図鑑

- | | | | | |
|-------------------|-----------|------|------------------|------|
| 新潮社(吾七) | 井上ひさし | 六八〇 | 塩野 七生 | 一〇〇〇 |
| 日本放送出版協会(吾八) | NHK取材班 | 九五〇 | 城山 三郎 | 七八〇 |
| 学習塾 — ほんとうの教育とは何か | 遠藤 豊吉 | 一一〇〇 | 天谷 直弘 | 八三〇 |
| 風濤社(吾三) | 人は城・人は石垣 | 一〇〇 | 永井 道雄 | 八五〇 |
| サイマル出版会(吾三) | フランク・ギグニー | 一一〇〇 | 現代教育の原理と課題 安藤五郎編 | 一四〇〇 |
| | | | 黎明書房(四九二) | 一四〇〇 |
| | | | 柳子の木蔭 | 九八〇 |
| | | | 時事通信社(吾六) | 九八〇 |
| | | | イタリアダより | 七生 |
| | | | 文芸春秋(吾六) | 一〇〇〇 |
| | | | 官僚たちの夏 | 三郎 |
| | | | 新潮社(吾七) | 七八〇 |
| | | | 漂流する日本経済 | 直弘 |
| | | | 毎日新聞社(吾八) | 八三〇 |
| | | | 歴史と国家 | 道雄 |
| | | | 中央公論社(吾八) | 八五〇 |
| | | | 現代教育の原理と課題 | 一四〇〇 |
| | | | 黎明書房(四九二) | 一四〇〇 |
| | | | 柳子の木蔭 | 九八〇 |
| | | | 時事通信社(吾六) | 九八〇 |

・カット 早川 正春 (梅園小)

10月の行事

日	曜	行	事	日	曜	行	事
1	水	定例教育委員会		17	金	香山中研究発表会、文化財保護審議会(市役所)	
2	木	理科作品展(2~7日)	(レオ)	18	土		
3	金	健康優良児童・生徒書類審査(市役所)	健康教育映画祭(三島小)	19	日	中学校新人体育大会(岡崎公園グランド、他)	小学校運動会 恵田小百年祭
4	土	理科作品展表彰式(レオ7F)		20	月	学校事務指導員連絡会議(西三)	
5	日	中学校運動会		21	火	新任教員研修会(小学校)教育文化賞第2次選考委員会	よい歯の児童、生徒実地審査(根石小)(働く婦人会館)
6	月	幼・小・中教育実習開始		22	水	県教委保健体育課指導主事学校訪問(葵中)	小学校修学旅行全体打合せ会(梅園小)
7	火			23	木		
8	水	定例校長会(南中) 社会教育審議会(市役所)		24	金	校務主任研修会(葵中)事務職員県大会(一宮市)	
9	木	矢作北小研究発表会		25	土	中学校新人戦	
10	金	(体育の日)第22回市民体育祭(岡崎公園グランド)		26	日	中学校新人戦	
11	土	理科現地研修会12日まで(東栄町御園天文台)		27	月	教育文化賞第3次選考委員会(働く婦人会館)	
12	日			28	火	美川中研究発表会	健康優良児童生徒実地審査(城北中)
13	月	教育文化賞第1次選考委員会(市役所)		29	水	中学校英語暗誦大会(竜海中) 展覧(3日まで)	
14	火	新任教員研修会(中学校)		30	木		
15	水	県教委教職員課主事学校訪問(常盤南、葵梨、藤川)	月報編集委員会(市役所)	31	金		
16	木						